

## 令和 6 年度全国学力・学習状況調査

## 経年変化分析調査の分析の進め方について

## 1. 令和 6 年度経年変化分析調査の概要

## ○調査日程・期間

令和 6 年 5 月 13 日（月）～ 6 月 28 日（金）のうち対象校の都合のよい日時

## ○調査対象

- ・国・公・私立学校のうち、文部科学省が指定する学校の小学校 6 年生・中学校 3 年生。
- ・対象となる学校は、文部科学省で抽出の上、実施方法（PBT/CBT）及び実施する教科とともに指定。

## ○調査内容

- ・教科に関する調査（国語、算数・数学、英語のうち 1 教科）

## ○調査対象規模

	PBT 実施校	CBT 実施校	対象校数合計
小学校	国語・算数 それぞれ 300 校 (約 3 万人)	国語・算数 それぞれ 300 校 (約 3 万人)	1,200 校 (約 7 万人)
中学校	国語・数学・英語 それぞれ 250 校 (約 8 万人)	国語・数学・英語 それぞれ 250 校 (約 8 万人)	1,500 校 (約 16 万人)

## 2. 分析方針

## ○国全体の学力の推移

令和 6 年度調査（PBT）について、これまでの調査との比較により分析  
（令和 3 年度同様、古典的分析と IRT 分析の両方を実施）

## ○モードエフェクト（調査の実施方式による解答への影響）

従来の PBT から CBT へと調査の実施方式を変更したことで解答への影響が生じたかどうかについても検証

## 3. 公表時期（予定）

令和 7 年夏頃